

住むほどになじむ味わい深い家「秦野市1邸」
 敷地面積192.76㎡(58.30坪) 延床面積103.38㎡(31.27坪)



丹沢の山々を一望できる絶好の敷地で当社設計の建替えをされた1邸が築十年を迎えました。

■オルタスクエアに新築の相談をされた経緯を教えてください

ご主人「当時、父を呼び寄せて同居するため、①父が暮らしやすい間取り、②丹沢の景色を楽しめる、③シンプルで頑丈、の3点を念頭に建替えを考えました。他の住宅メーカーも見ましたが、オルタスクエアに相談に行き、実際の家も見学して、決めました。」

■設計打ち合わせ時に、ご夫妻から要望されたことはありませんか？

ご主人「塚原さんの設計プランは、申し分ありませんでした。ただバルコニーは木製からアルミ製に変更し、また、雨戸をお願いしました。」



玄関の風除室には丹沢の景色が見えるよう大きなガラスを設置

■住まれてから十年になりますが、いかがお過ごしですか？

ご主人「父は数年前に他界し、今は夫婦二人の生活ですが、友人たちがしばしば遊びに来ます。丹沢の山を見ながらお湯に浸かれるその風呂がみんな好きです。それと、この太い梁はみな驚きますね。上棟時にも、ご近所から「すごいが入ったね」と言われました。」
 奥様「私は、キッチンと物干しスペース、洗面室、浴室をつなぐこの動線がとても楽で気に入っています。夏は友人たちが来た時にはエアコンをつけますが、普段は無くても、風がよく通るので平気です。冬は、今まで床暖房の経験がなかったので、こんなに快適なものなのかと思いました。日中は日の光が入ってきてそれだけで暖かいので使いません。それと、珪藻土はすごいと思います。夫のタバコを吸うにおいが全く気になりません。」

ご主人「十年経って、この家は、まるで使い込むほど手になじんでくる茶碗のようです。基本の部分は住む人に親切に設計されているから、細部は住む人の自由にまかせているところも気に入っています。丹沢は、冬は真っ白になり、新緑の季節もきれいです。見晴らしのよいこの部屋から、そんな景色を眺めつつご飯をたべる、それがとても幸せです。」

設計で実現した暮らしやすさ



001 1階にある収納力抜群・使い勝手もすぐれた通路型クローゼット



002 1階の和室 壁は北海道産の珪藻土。煙草のにおいを消してくれます。高台なので1階でも景色が楽しめます。



003 2階キッチンの南側には、日当たりのよい物干しスペースを設置



004 キッチン北側には、洗面室、トイレ、そして「露天風呂」のように丹沢の景色を楽しめる浴室が一直線に並びます



005 ゆっくりと上りやすく作った階段室 風が抜け、光が入り、丹沢が眺められる工夫。壁は北海道産珪藻土





リフォーム後



リフォーム前



リフォーム前はカーテンが取付けてありました

外国人を感じる和室の美しさは、木の部材が現す縦と横の深い線と言われていますが、Fさんも同様に障子の棧のすっきりした線が好きで、それまでのカーテンに替えて、障子を取り付けました。
壁は漆喰。床は秋田杉、天井は樺(さわら)で仕上げました。

① 洋間に障子を入れた「和」のリフォーム
以前に大型リフォームを紹介させていただいた茅ヶ崎市F邸。LDKに障子を入れたこだわりポイントを、あらためてご紹介します。木の棧に紙を張った「明り障子」は、平安時代末期ごろに発明されたと言われていますが、紙は長らく高級品で、庶民の家に普及するのは江戸時代中期になってからだそうです。障子は光を通す一方で風は遮るため、断熱の性能があります(ガラス窓からの冷気を2割以上削減)。
外国人を感じる和室の美しさは、木の部材が現す縦と横の深い線と言わ

お施主さんとの対話から生まれるこだわりのリフォーム



リフォーム工事から5年経過、ベランダに傷みはありません



リフォーム前

△傷みが目立つ工事前バルコニー



▽高耐久性の窒素加熱処理杉材

② 高耐久性の杉材で作った木製ベランダの作り直し
戸塚区のUさんからの相談は、外壁塗装と、築四十年近く経った木製ベランダの傷みについてでした。ベランダは、鉄骨の支柱の他は木製で、腰壁には白く塗装した斜め板材が張られた、とても素敵なデザインでした。しかし、板の木口(こぐち)から少しずつ水が浸入し、板材が朽ちて脱落してしまっただ箇所もありました。そこで、当社で扱い始めた、窒素加熱処理で腐りにくくした国産杉材でベランダを作り直してはどうかと考え、工事費用を算出すると、既製のアルミ製バルコニーに交換するよりも、金額を安くできることがわかりました。この方法なら現状の素敵なデザインを受け継いで作り直し工事ができます。工事完成から既に5年が経過した先日、別件のご相談で訪問した際、バルコニーの傷みはなく、塗装も美しいままでした。

高圧洗浄 税込み30,800円

1平方センチメートルあたり150kg以上の水圧を出せる機械を用意し排水管の付着汚れを残さず洗い流します。



国産減農薬畳イグサ4番毛 税込み9,130円 (表替え1畳)

新畳 (稲藁床) 1畳 税込み20,240円+古畳処分費 税込み2,200円

*新畳の税抜き価格が上がりました

九州熊本県・佐賀県で生産者が土作りから丹精込めて育てたイグサは、昔ながらの「泥染め」により、独特の色と香りと耐久性を持つようになります。
輸入品のように塗料を塗っていないので、靴下に色がつかず、簡単にささくれることもありません。
そして、人の心を和らげる香り。希望者に畳の資料お送りします。



屋根診断 税込み9,900円

「屋根に穴が開いてますよ。無料で直してあげます」という悪質業者の訪問に注意!
オルタスクエアの有料屋根診断は、専門家が屋根を点検し写真と報告書をお出しします。対策工事が必要な場合はお見積もりもご提案します。



床下診断 税込み8,800円

床下の状態が気になったお家のために、専門家が床下にもぐって調査結果を写真とともに報告するメニュー。ご利用は1回のみです。万が一シロアリがいた場合は、人にもペットにも無害なシロアリ駆除工事(「月桃」使用)のお見積もりをお出しします。



オルタスクエアのおすすめメニュー

国真空ガラス「スペーシア」

一般住宅の窓面積で交換費：税込約47,000円/m²~53,000円/m²(既存ガラス処分費を含む)

1枚ガラス

6.0 w/(m²・K)

スペーシア

1.4 w/(m²・K)

住宅の断熱性能を高めるには窓が重要です。既存窓の内側に取り付けるインナーサッシ(内窓)がつけられない、または、つけたくない箇所には、ガラスのみを真空ガラスに交換する「スペーシア」(日本板硝子株)がお薦めです。1枚ガラスに比べ、「スペーシア」は熱を4分の1しか伝えません。



JR 横浜線の線路沿いです



私たちオルタスクエア株式会社は1998年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。



http://www.a-sq.co.jp/

生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F
電話: 045(476)1105 (日曜・祭日休)
FAX: 045(476)1106
mail: info@a-sq.jp
(ご相談はメールでも受付けています!)



中古マンションの自然素材リノベーション（横浜市中区W邸）

海を眺望できる見晴らしのよい高台の中古マンションを購入したWさんから、自然素材を使ったリノベーションのご相談をいただきました。打合せを重ね、左の項目を主なポイントとしたリノベーションを行いました。

1 二つある旧和室のうち一つは押し入れを撤去し、ダイニングキッチンと一体化して広いLDKを実現する

2 北側の旧洋室は、ダイニングキッチンとの間の壁を引き戸で開口できるようにし、国産減農薬縁なし畳の和室に。これによって南の海側から北側まで風と光が抜けるようになります

3 二つの和室・ダイニングキッチンの床を杉の無垢材に交換。遮音規制が40なので、それをクリアできる遮音材を下地に使用。壁はエコクロス

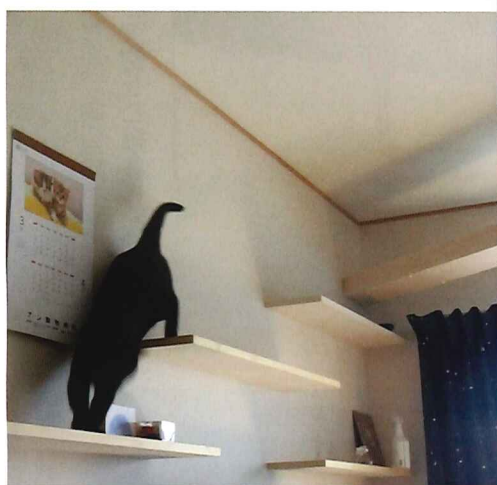
4 キッチン・ユニットバス・洗面台・トイレは全て新しいものに交換

5 動物病院の伝手で地域猫の会から引き取った二匹の猫（黒猫のニカちゃん）と三毛猫のミューちゃん）の運動のためのキャットウォークを設置

昨年夏に無事工事が終わり、1年が経過。その間に、エアコンの配管工事などもご依頼をいただきました。「光を採るための扉のガラス、風を通すための間取りなど、とてもすばらしい提案をくださって、心から喜んでいます。リフォームしていただき丸一年、たいへん快適に暮らしています。」（Wさん）ただ、ニカちゃんはキャットウォーク効果大ですが、運動不足のミューちゃんは、たまに登ると若干ミニミニ音が(?)。獣医さんからも注意を受けてしまったとのこと。



1 押し入れを撤去し、広げたLDK
3 床は杉の無垢材、壁はエコクロスに交換



5 キャットウォークで遊ぶニカちゃん



新しくなった水廻り

玄関床も新しいタイルに張り替えました



2 国産減農薬縁なし畳の和室し、壁に開口部を設置して風と光が抜けるようになりました

外壁塗装 屋根塗装 屋根葺き替え 耐震診断 床下診断 シロアリ防除 床下湿気対策 畳換え 襖張り替え 網戸張り替え クロス張



十人十色のリビングの在り方

「リビングは1階にする。それとも陽当たりのよい2階？」
 住宅設計においてリビングの在り方の選択肢は、設置階だけではありません。周辺環境や家族構成、過ごし方の好みなど、暮らしに沿った設計が可能です。そのいくつかの実例をご紹介します。



■ 中庭をとっても近くに感じたい F邸

庭木だけでなく、季節ごとに発生する野草も楽しみたいというお施主さんのために、リビングを地面レベルよりも潜らせ、大開口の木製サッシにすることで、リビングのどこにいても庭の緑を楽しんで観察できるようにしました。また、ゆったりと過ごせるように作り付けのベンチを設置しました。

■ 採光のためのスノコ天井 N邸

周辺環境から1階への採光が期待できず、知恵を絞った結果、リビング上のユーティリティー室をスノコ床に。夜間はスノコ床の美しい光の陰影が日中と違った景色を現します。



■ 建物裏側にリビングを配設して、見事な絶景を室内に取り込んだ M邸

■ スキップフロアの中心に据えたリビング I邸

住まいのあらゆる場所から見えるリビングは、家族が集って楽しく過ごす、まさに住まいの中心。カラフルな色彩に北欧家具で大切な時間をこれから紡いでいきます。



家族の暮らしを奏でる住まい



■ 土地が道路より高いことを利用した南側の明るいダイニングからあえて潜らせた畳リビングのO邸
 仕切りがないのでLDKの広がりを持ちつつ、落ち着いて過ごせます